

日本SPICEネットワーク 第13回総会

2023年 4月 21日

日本SPICEネットワーク運営委員会

<注意事項>

音声ミュート、ビデオオフに設定してください。

氏名は、日本語フルネームでの設定をお願いします。

撮影・録音は禁止です。（画面のキャプチャを含む。）

- 第13回 総会議長の選出
- 第13期 活動報告
- 第13期 決算報告 [議決]

- 第14期 運営委員会 [議決]
- 第14期 活動方針 & 計画
- 第14期 予算案



● 選出方法

- 会則の第17条に基づき、運営委員の中より議長を選出し、総会の承認を受ける。
 - 第17条（総会の議長）
総会の議長は、その都度、運営委員の中から選出し、総会の承認を受けるものとする。

● 議長

河野 文昭

スズキ株式会社

● 運営委員会（8名）

（役職順、氏名五十音順、敬称略）

- 河野 文昭〔代表〕 スズキ株式会社
- 萩原 一彦〔副代表〕 株式会社 デンソー
- 田淵 一成〔事務局〕 アセッサー・アカデミー株式会社
- 安倍 秀二 株式会社エーアンドエス・コンサルティング
- 近藤 聖久 DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社
- 齋藤 幸裕 ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社
- 古田 健裕 SGS ジャパン株式会社
- 室谷 隆 S3 プロセスラボ

- 2022/04/06 第71回 運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : 新年度勉強会
- 2022/04/20 第72回 運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : 第39回定例勉強会
- 2022/05/20 第73回 運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : 第39および40回定例勉強会、NSPICEカンファレンス
- 2022/06/17 第74回運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : 第40回定例勉強会、NSPICEカンファレンス
- 2022/07/12 第75回 運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : NSPICEカンファレンス
- 2022/08/01 第76回 運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : NSPICEカンファレンス、NSPICE Camp
- 2022/09/14 第77回運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : EE-AC取り扱い、NSPICEカンファレンス

第13期は10回実施

- 2022/11/16 第78回 運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : NSPICEカンファレンス、銀行口座
- 2023/02/20 第79回 運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : 次年度イベント&担当
- 2023/03/20 第80回 運営委員会 [ZOOM]
 - Topics : 来期計画（勉強会、研究会）

目的：会員自らが学ぶ“場”を創出&提供し、共に学ぶを実践する

日本SPICEネットワークの学びの場の提供

勉強会（年四回、会員限定）

全員参加の交流の場であり、エントリーレベルおよびミドルレベルを対象とした経験ベースによるグループ議論
中心の学び

実施

NSPICEカンファレンス（一般向け）

各界の有識者による基調講演および一般講演による学び

実施

CAMP（年一回、会員限定）

テーマを設定し、2日間の集中議論によるテーマを絞った深い学び

実施

研究会（通年、会員限定）

会員自らテーマを掲げ、メンバー間の深い議論を中心にした自発的な学び

実施

勉強会に延べ276名の参加がありました。

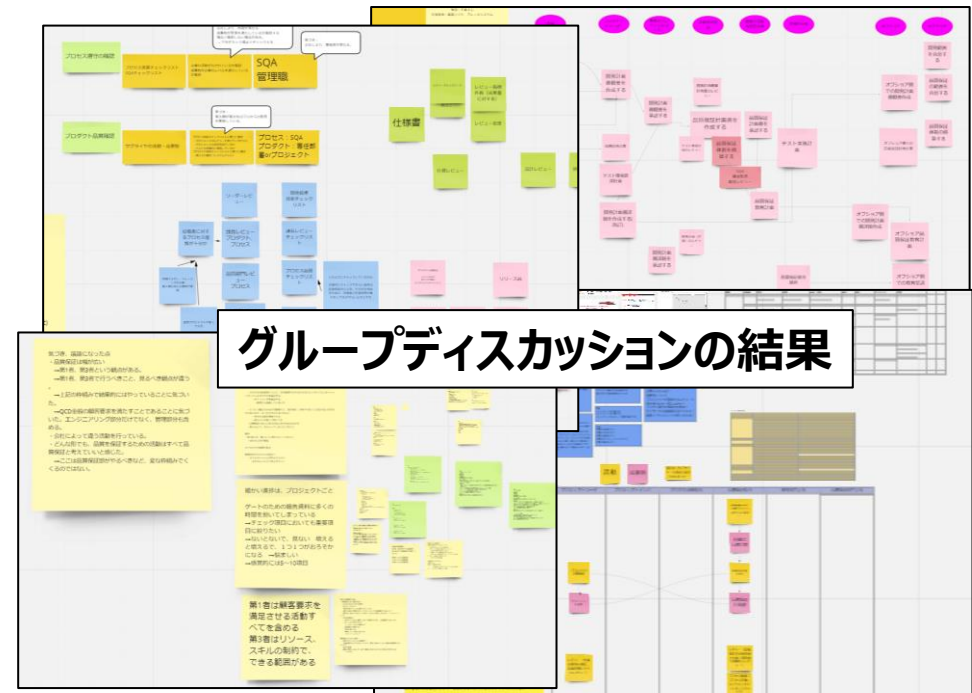
● 2022年 6月 3日 第39回 勉強会 参加者数：62名〔オンライン開催〕

■ ワークショップ

- テーマ：品質保証
 - グループディスカッション
 - グループ議論結果発表

■ 研究会報告

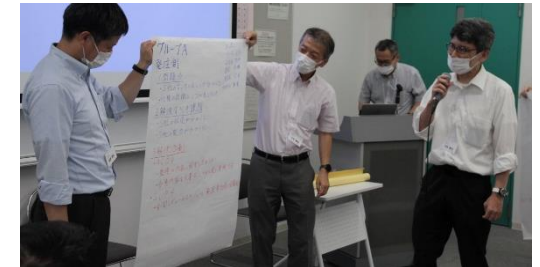
- 東京アセスメント 研究会
- AI 搭載プロダクト アセスメント研究会
- 改善の本質に繋げるアセスメント研究会



● 2022年 7月 8日 第40回 勉強会 参加者数：36名〔アクティシティ浜松〕

■ ワークショップ

- テーマ：発注者／供給者の立場でプロセスを理解しよう！
 - グループディスカッション
 - グループ議論結果発表



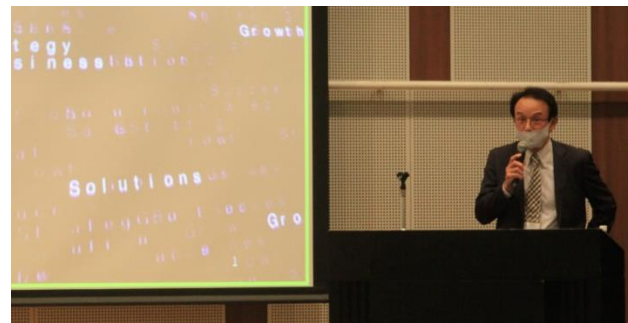
- 2022年 9月 8、9日 参加者数：16名〔横浜市：かながわ労働プラザ〕

■ ワークショップ

- Aコース Automotive SPICEモデル概要理解コース
- Bコース Automotive SPICEプロセスアセスメント実践コース
 - グループディスカッション
 - グループ議論結果発表



- 2022年 10月 21日 参加者数：79名〔ウインクあいち／オンライン ハイブリット開催〕
- テーマ：SPICEで開発の基盤を確立し、継続的に改善しよう！
 - ～ 機能安全、サイバーセキュリティ等の規格要求を俯瞰して本質を捉えよう ～
- 特別講演
 - 安全関連三規格の統合マネジメントのヒントをさぐる
 - DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社 / 山下 修平 氏
 - コネクテッドで変化するソフトウェアのアーキテクチャ
 - 山下技術開発事務所（元IBM技術理事） / 山下 克司 氏
- 一般発表
 - 2件
- アワード表彰
 - 該当なし



● 2022年 12月 16日 第41回 勉強会 参加者数：40名〔オンライン開催〕

■ ワークショップ

- テーマ：品質管理（Quality Control）：品質保証との違い，品質管理メトリクスなど
 - グループディスカッション
 - グループ議論結果発表

グループディスカッションの結果

The collage contains several key documents:

- 品質管理 (Quality Control) Overview:** A central diagram with sections for '目的' (Purpose), '活動内容' (Activities), and '関係者全員' (All Stakeholders). It defines Quality Control as a process to ensure products meet customer requirements through planning, production, and verification.
- 品質管理メトリクス (Quality Management Metrics):** A table listing various metrics such as '不良率' (Defect Rate), '顧客満足度' (Customer Satisfaction), and 'コスト削減率' (Cost Reduction Rate).
- グループディスカッションの結果 (Results of Group Discussion):** A large section containing multiple text boxes with handwritten notes and printed text. It discusses the differences between Quality Assurance (QA) and Quality Control (QC), and provides detailed information about Quality Management Metrics, including their definitions and how to use them for improvement.
- 品質管理の重要性 (Importance of Quality Management):** A text box explaining that quality management is essential for customer satisfaction and business success.

● 2023年 2月 3日 第42回 勉強会 参加者数：43名〔マツダ本社教育センター〕

■ ワークショップ

- テーマ：発注者／供給者の立場でプロセスを理解しよう！
 - グループディスカッション
 - グループ議論結果発表



■ 研究会報告

- アセスメント実践研究会
- 改善の本質に繋げるアセスメント研究会



● 5つの研究会が活動

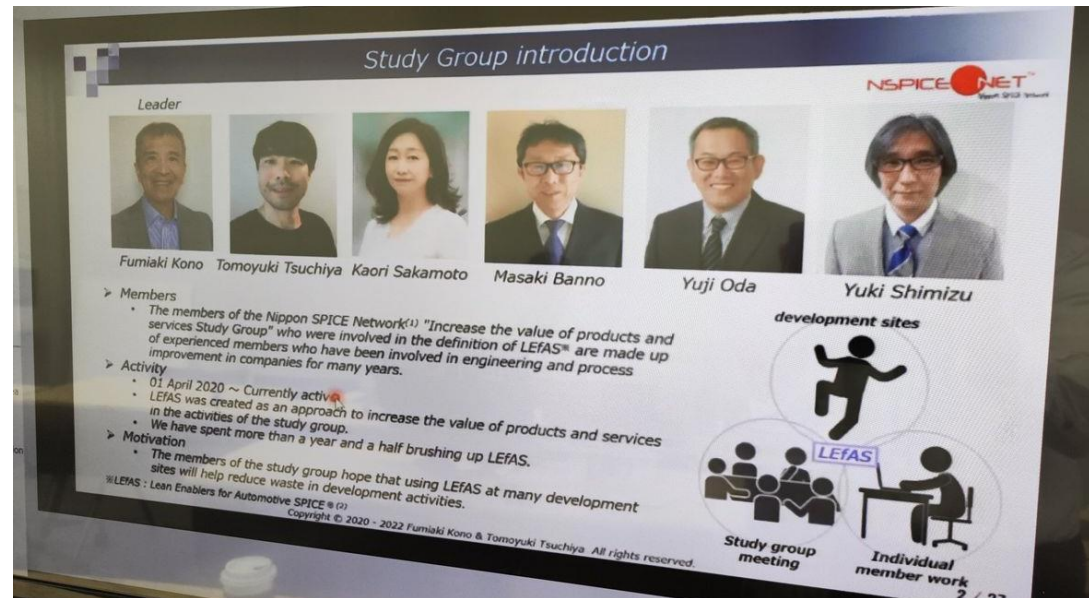
研究会名称	代表者	主な活動拠点	継/新
アセスメント実践研究会	新海 良一 氏	関東、中部、関西	継続
改善研究会	倉田 智穂 氏	名古屋市、刈谷市	継続
東京アセスメント研究会	由井 美恵子 氏	関東	継続
改善の本質に繋げるアセスメント研究会	長澤 克仁 氏	関東	継続
製品やサービスの利害関係者価値を高めるLEfAS研究会	河野 文昭 氏	関東、中部、中四国	継続



基本的にはテレコンで実施

- テレコンによる研究会実施が定着した。
- 一部の研究会で対面による活動が実施された。
- 今後の研究会実施には、テレコン/対面のハイブリッドも有効であると思われる。

- 製品やサービスの利害関係者価値を高めるLEfAS研究会の成果を
VDA Automotive SYS Conference 2022 で発表
 - 日時：2022年 6月 28～30日
 - 場所：ドイツ ベルリン
 - テーマ：*Reducing waste in development activities using Lean Enablers for Automotive SPICE (LEfAS) based on lean thinking*



議決事項：第13期 決算報告

- 活動報告及び決算について、承認をお願いします。
- 収入の部

項目	金額	備考
第13期からの繰り越し	¥840,340	
年会費	¥316,000	158名
預金利息	¥10	
第5回カンファレンスの残金繰り入れ	¥114,893	
その他収入	¥3,500	勉強会参加費（会場提供社 社員）
合計	¥1,274,743	

- 支出の部

項目	金額	備考
インフラ維持費	¥180,959	Webサイト、Redmine、VPSサーバ、ZOOM、miro、等
インフラ構築費	¥26,600	Webサイト移管、Redmine移管
勉強会会場費	¥99,720	
研究会経費	¥15,900	
消耗品、その他	¥34,623	通信・印刷費、勉強会消耗品、支払手数料
第14期への繰り越し	¥916,941	
合計	¥1,274,743	

上記に相違がないことを確認しました。 2023.4.20 会計監査 萩原 一彦

● 運営委員8名の承認をお願いします。

(氏名五十音順、敬称略)

- 安倍 秀二 株式会社 エーアンドエス・コンサルティング
- 河野 文昭 スズキ株式会社
- 近藤 聖久 DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社
- 齋藤 幸裕 ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社
- 田淵 一成 アセッサー・アカデミー株式会社
- 萩原 一彦 株式会社 デンソー
- 古田 健裕 SGS ジャパン株式会社
- 室谷 隆 S3 プロセスラボ

● 代表

(役職順、氏名五十音順、敬称略)

河野 文昭 スズキ株式会社

● 副代表

萩原 一彦 株式会社 デンソー

● 事務局

田淵 一成 アセッサー・アカデミー株式会社

● 委員

安倍 秀二 株式会社 エーアンドエス・コンサルティング

近藤 聖久 DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

齋藤 幸裕 ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社

古田 健裕 SGS ジャパン株式会社

室谷 隆 S3 プロセスラボ

氏名	役職	担当
河野 文昭	代表	渉外担当 能力開発担当（中四国、Camp）
萩原 一彦	副代表 会計監事	能力開発担当（中部）
田淵 一成	事務局	カンファレンス担当 会計担当 インフラ担当 広報担当
安倍 秀二	—	研究会担当
近藤 聖久	—	能力開発担当（関西）
齋藤 幸裕	—	渉外担当
古田 健裕	—	会員担当 インフラ担当
室谷 隆	—	能力開発担当（関東）

● 会員のSPICE活用能力アップ

■ 勉強会

- エントリーレベルに向けた“主要プロセス領域の**プロセス活用**力向上”
- ミドルレベルに向けた“現場への**プロセス展開**力向上”
- 定例勉強会：年4回開催（当面のイベントはZOOM利用）

■ CAMP

- “現場で実践できるプロセス実装能力向上”に関するテーマを設定し、“短期集中で**プロセス実践**力を向上”

■ 研究会

- 研究会活動による深い議論および、研究成果の会員共有による“**プロセス応用**力向上”

■ カンファレンス

- 効果的、効率的なプロセス活用についての事例共有による“**プロセス活用**力向上”

● イベント

コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web開催を多用してきましたが、徐々に面直開催に戻していきます。 日程および場所については予定であり、変更する可能性があります。

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| ■ 第43回定例勉強会 | 2023年 6月 2日 |
| ➢ 〔中部：デンソー名古屋オフィス〕 | |
| ■ 第44回定例勉強会 | 2023年 7月 21 or 28日 |
| ➢ 〔関東：NEC通信システム〕 | |
| ■ NSPICE Camp 2023 | 2023年 9月 14、15日 |
| ➢ 〔浜松市：アクトシティ浜松 研修交流センター〕 | |
| ■ NSPICEカンファレンス2023 | 2023年 10月 25日 |
| ➢ 〔名古屋市：ウインクあいち 小ホール／オンライン併設〕 | |
| ■ 第45回定例勉強会 | 2023年 12月 15日 |
| ➢ 〔関西：オンライン〕 | |
| ■ 第46回定例勉強会 | 2024年 2月 2日 |
| ➢ 〔中四国：マツダ 本社教育センター〕 | |

※各イベントは能力開発担当運営委員及び運営委員から依頼したサポーターの支援により運営します。

4つの研究会を会員相互の研鑽の場として提供します。

研究会名称	代表者	主な活動拠点	継/新
アセスメント実践研究会	新海 良一 氏	関東、中部、関西	継続
改善研究会	倉田 智穂 氏	名古屋市、刈谷市	継続
東京アセスメント研究会	由井 美恵子 氏	関東	継続
製品やサービスの利害関係者価値を高めるLEfAS研究会	河野 文昭 氏	関東、中部、中四国	継続

目的：会員自らが学ぶ“場”を提供し、実践する

研究会は、自ら設定したテーマで、定例会より、頻度・密度とも高く活動ができると考えております。

是非とも、積極的に、研究会を立ち上げ、会員相互の研鑽をお願いいたします。

日本SPICEネットワークの学びの場の提供

勉強会（年三回、会員限定）

全員参加の交流の場であり、エントリーレベルおよびミドルレベルを対象とした経験ベースによるグループ議論中心の学び

NSPICEカンファレンス（一般向け）

各界の有識者による基調講演および一般講演による学び

CAMP（年一回、会員限定）

テーマを設定し、2日間の集中議論によるテーマを絞った深い学び



研究会（通年、会員限定）

会員自らテーマを掲げ、メンバー間の深い議論を中心にした自発的な学び

- ✓ 研究会の“参加”については、「WEBサイト」-「各種申請」-「研究会への参加申込」のフォームへの記載をお願いします。
- ✓ 研究会の“立ち上げ”については、「WEBサイト」-「ダウンロード」-「様式」の“研究会計画書”に内容を記載の上、studygroup@nspice.netまで送付してください。
- ✓ 活動のルールなどは、「研究会運用規則」を参照ください。

- 研究会活動の活性化を目的に、**表彰制度を新設**する
 - 表彰の対象は、研究会の活動と成果物とする。下記の内容を基に、年度末に評価し、総会で発表する。
 - 研究会活動計画書、研究会活動報告及びそれらの達成状況
 - 作業成果物
 - 表彰内容
 - 研究会 優秀活動賞
 - 研究会 優秀成果物賞

勉強会

全員参加の交流による経験ベースによるグループ議論による学び

研究会

共通のテーマによるメンバー間の深い議論を中心にした自発的な学び

CAMP

集中議論によるテーマを絞った深い学び

NSPICEカンファレンス

有識者による基調講演/一般講演による学び

学びたいことを、仲間と、気軽にできないか？

新たな学びの場として、グループ勉強会を開始

ルール

- 開始時にグループの名称、メンバーをメールで連絡
- 終了時は、活動実績（活動サマリや回数など）をメールで連絡
- 年度を跨いで活動を継続する場合は、活動実績をメールで連絡
- 活動のプラットフォームとして、Redmine、Zoomの使用が可能

● 研究会運用規則改定のお知らせ（主な内容）

	研究会（新）	グループ勉強会
目的	メンバー間の深い議論を中心にした自発的な学び	仲間とともに、気軽に開始できる学び
立ち上げ	現研究会と同様	代表者が、以下の情報を研究会担当運営委員に連絡する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループの名称（議論のテーマでもよい） ・ メンバ
参加者	現研究会と同様	入会を希望する者は、その旨を研究会担当運営委員へ連絡する。退会したい場合には、研究会担当運営委員及びグループ勉強会代表者に申し出ることにより退会することができる。
運営	現研究会と同様	研究会と同様（費用の使用も可能）
活動報告	現研究会と同様	年度毎にとして活動実績（活動サマリ、回数など）をまとめ、研究会担当運営委員に提出する。
活動の継続と終了	現研究会と同様	活動を終了する場合は、代表者は、該当年度の終了時点までの活動実績を提出し、終了の旨を研究会担当運営委員に連絡する。
活動成果の公開	NSPICE Conferenceでの発表必須（少なくとも2年に1回の応募）	研究会同様 ただし、NSPICE Conference発表は任意とする。
活動成果の外部発表	現研究会と同様	研究会と同様

● インフラの改善計画についてお知らせします。

- 昨年の総会にて、RedmineがPHP版であるためセキュリティ面などの課題があり、改善を実施する旨発信しています。今年度、移行を予定しています。
- 会員用サイト（Redmine）の移行
 - 新会員用サイトの立ち上げ（5月頃を予定）
 - 研究会などの利用での改善要望（プラグイン追加など）は、都度インフラ担当へお知らせください。
 - 現会員用サイトの閉鎖（11/30を予定）
 - 必要なデータは、各自ダウンロードし、必要に応じて新会員用サイトにアップロードしてください。
- Webサイト
 - 新Webサイトへの移行（5月頃を予定）
 - 利用できない日が数日発生する見込みです。

※ 本活動は、インフラ担当運営委員及び運営委員から依頼したサポーターの支援により実施します。



● 第14期 会員数 (2023年度)

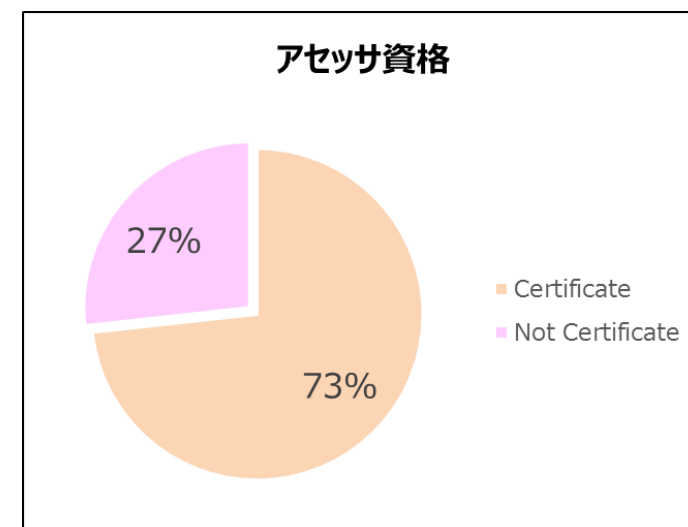
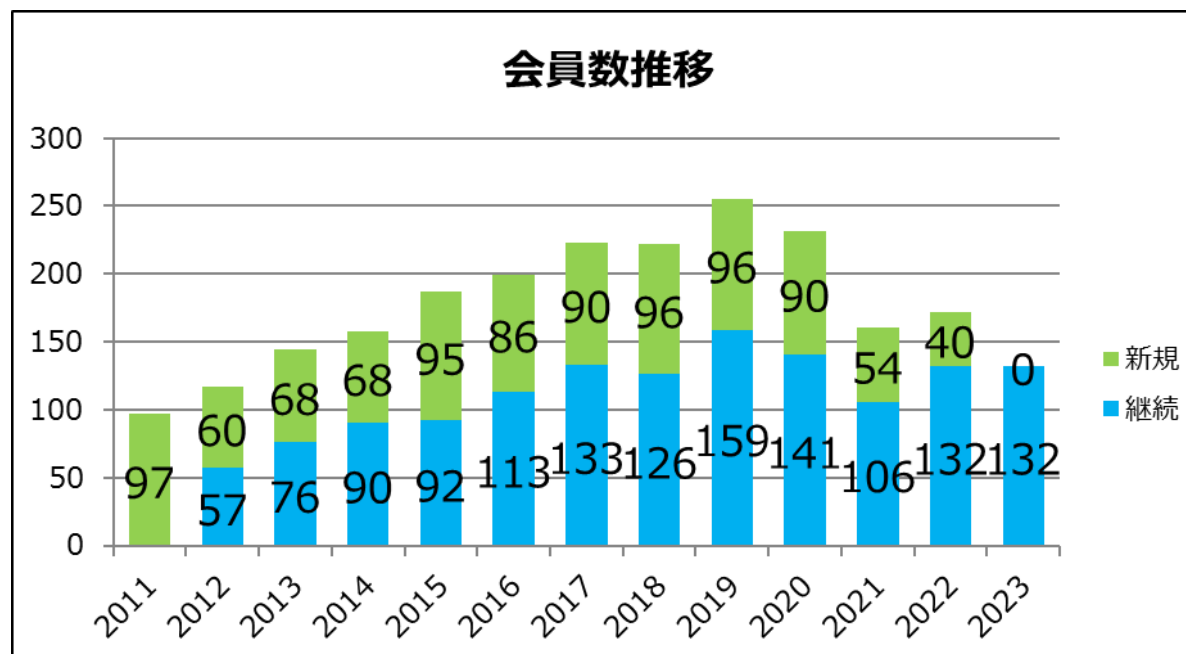
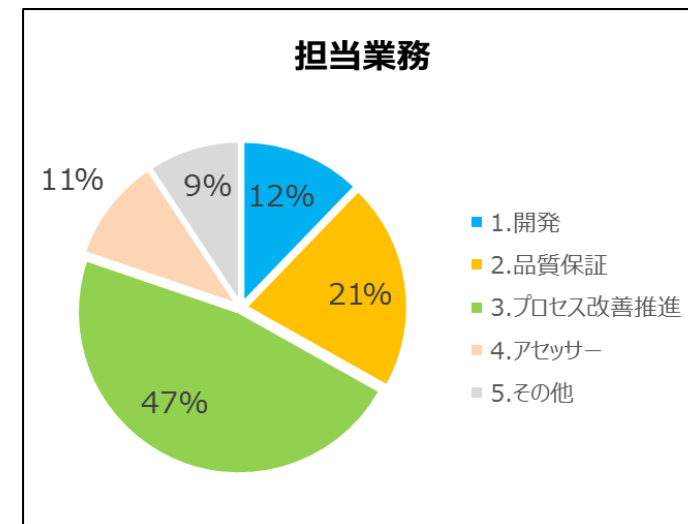
■ 132名 (2023年4月2日)

➤ [内訳：継続132名]

● 第13期 会員数 (2022年度)

■ 172名 (2023年3月31日)

➤ [内訳：継続132名、新規40名]



● 収入の部

項目	金額	備考
第13期からの繰り入れ	¥904,961	
年会費	¥316,000	前年度実績に基づく
合計	¥1,220,961	

● 支出の部

項目	金額	備考
インフラ維持費	¥250,000	Webサイト、Redmine、VPSサーバ、ZOOM、miro、等
インフラ構築費	¥100,000	Webサイト移管、Redmine移管
勉強会会場費	¥200,000	
研究会経費	¥50,000	会場費、消耗品
研究会推進費	¥20,000	表彰
消耗品・その他	¥80,000	通信・印刷費、勉強会消耗品、運営員会場費、支払手数料
予備費	¥100,000	
第15期への繰り越し	¥420,961	
合計	¥1,220,961	

Please feel free to join us!!
Nippon SPICE Network (NSPICE.NET)



Web:

<http://www.nspice.net/>

<http://www.facebook.com/groups/nspice/>

Email:

info@nspice.net